

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-062283

(43)Date of publication of application : 07.03.1997

(51)Int.Cl.

G10K 15/04

G09B 15/00

(21)Application number : 07-240972

(71)Applicant : EKUSHINGU:KK  
BROTHER IND LTD

(22)Date of filing : 25.08.1995

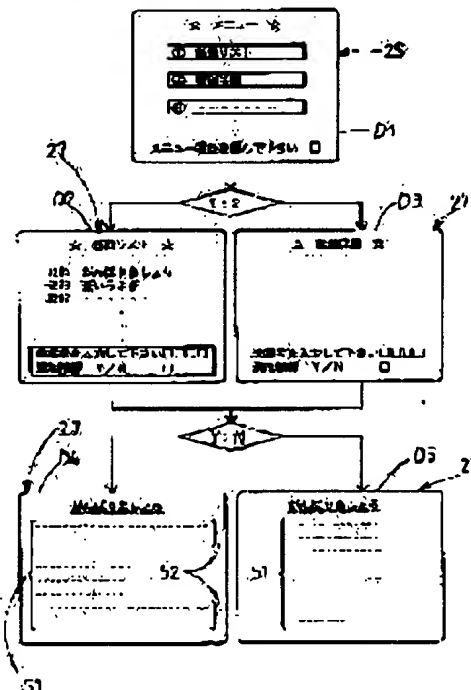
(72)Inventor : HASEGAWA MASATO

## (54) 'KARAOKE' (PRERECORDED BACKING MUSIC) DEVICE AND 'KARAOKE' COMMUNICATION SYSTEM

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a 'karaoke' device and 'karaoke' communication system storing the words of 'karaoke' music as information of characters, which can print the words or information of karaoke music designated and the like.

**SOLUTION:** When the screen of a CRT monitor 27 of an operation device displays an image D3, the number of tune '1234' and 'Y' is input, and then the image plane of the monitor 27 is changed to an image D4 and the title of the tune corresponding to the number '1234', i.e., the words 51 and additional information 52 of the title: 'ganbari masha' (do the best) are displayed by means of a printer in two lines followed by the printing operation to print them on a printing sheet of paper. On the other hand, when the number '1234' and 'N' are input, the image plane of the monitor 27 is changed to an image D5 and only the words of the title 'do the best' corresponding to the number is displayed thereon followed by the printing operation of the printer to print it.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 18.09.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 17.08.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

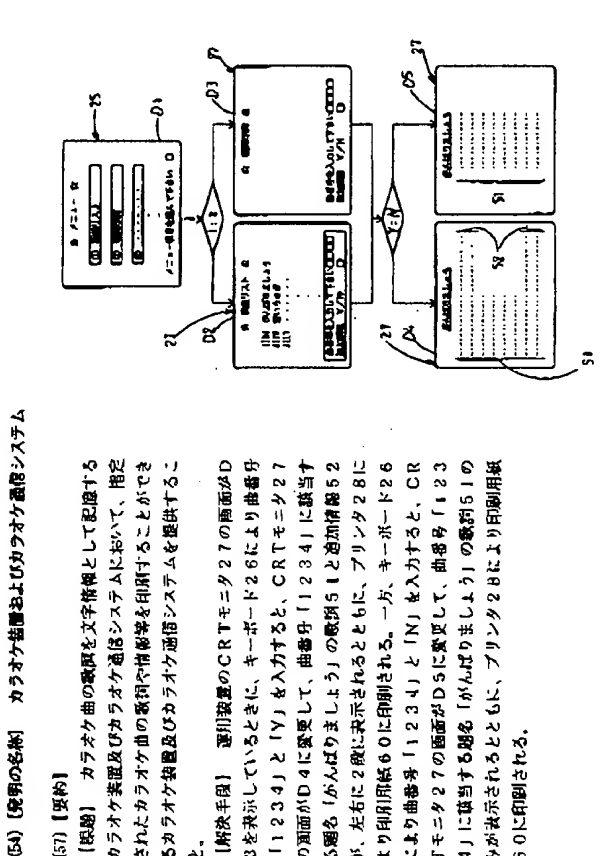
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(10) 日本特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A) (11) 特許出願公開番号  
特開平9-62283  
(43) 公開日 平成9年(1997)8月7日

(51) Int. Cl. G10K 15/04 G09B 15/00	発明の名称 カラオケ装置およびカラオケ通信システム
(52) 優先権 G10K 15/04 G09B 15/00	発明の要約 カラオケ装置およびカラオケ通信システムにおいて、指定されたカラオケ曲の歌詞や情報等を印刷することができ、カラオケ装置およびカラオケ通信システムを提供すること。
(53) 発明の要約 カラオケ装置およびカラオケ通信システムにおいて、指定されたカラオケ曲の歌詞や情報等を印刷することができ、カラオケ装置およびカラオケ通信システムを提供すること。	(54) 発明の名称 カラオケ装置およびカラオケ通信システム
(55) 発明の要約 カラオケ装置およびカラオケ通信システムにおいて、指定されたカラオケ曲の歌詞や情報等を印刷することができ、カラオケ装置およびカラオケ通信システムを提供すること。	(56) 発明の要約 カラオケ装置およびカラオケ通信システムにおいて、指定されたカラオケ曲の歌詞や情報等を印刷することができ、カラオケ装置およびカラオケ通信システムを提供すること。



【請求項1】 歌詞データを文字情報として記憶するカラオケ装置において、  
指定されたカラオケ曲の歌詞の全部または一部を歌詞データに基づいて印刷する印刷手段を備えたことを特徴とするカラオケ装置。  
【請求項2】 請求項1に記載するカラオケ装置において、  
複数の前記カラオケ装置の運用を管理する運用装置に前記印刷手段を備えたことを特徴とする請求項1に記載するカラオケ装置。  
【請求項3】 請求項1、2に記載するカラオケ装置において、  
前記歌詞データには指定されたカラオケ曲に関する情報データが追加されていることを特徴とする請求項1、2に記載するカラオケ装置。  
【請求項4】 通信回線を介して記憶される歌詞データを文字情報として記憶するカラオケ装置を有するカラオケ通信システムにおいて、  
指定されたカラオケ曲の歌詞の全部または一部を歌詞データに基づいて印刷する印刷手段を備えたことを特徴とするカラオケ通信システム。  
【請求項5】 請求項4に記載するカラオケ通信システムにおいて、  
複数の前記カラオケ装置の運用を管理する運用装置に前記印刷手段を備えたことを特徴とする請求項4に記載するカラオケ通信システム。  
【請求項6】 請求項4、5に記載するカラオケ通信システムにおいて、  
前記歌詞データには指定されたカラオケ曲に関する情報データが追加されていることを特徴とする請求項4、5に記載するカラオケ通信システム。  
【発明の詳細な説明】  
【発明の要約】  
【発明の名称】  
カラオケ装置およびカラオケ通信システム

【0005】 また、いわゆる通信型カラオケ装置では、新曲が発売日から1〜2週間後カラオケ曲として歌うことが可能となり（以下、新曲曲のカラオケ曲を「新曲」という）、新曲を発売後早く歌うためにその場で歌詞を覚えないといけない場合があるが、最近のカラオケ装置においては、上述した理由等により「全曲収録」は提供されていないので、「歌詞テロップ」以外にカラオケ曲の歌詞を覚えることができない問題があった。

【0006】 また、いわゆる通信型カラオケ装置では、新曲が発売日から1〜2週間後カラオケ曲として歌うことが可能となり（以下、新曲曲のカラオケ曲を「新曲」という）、新曲を発売後早く歌うためにその場で歌詞を覚えないといけない場合があるが、最近のカラオケ装置においては、上述した理由等により「全曲収録」は提供されていないので、「歌詞テロップ」以外にカラオケ曲の歌詞を覚えることができない問題があった。

【請求項1】 歌詞データを文字情報として記憶するカラオケ装置において、  
指定されたカラオケ曲の歌詞の全部または一部を歌詞データに基づいて印刷する印刷手段を備えたことを特徴とするカラオケ装置。  
【請求項2】 請求項1に記載するカラオケ装置において、  
複数の前記カラオケ装置の運用を管理する運用装置に前記印刷手段を備えたことを特徴とする請求項1に記載するカラオケ装置。  
【請求項3】 請求項1、2に記載するカラオケ装置において、  
前記歌詞データには指定されたカラオケ曲に関する情報データが追加されていることを特徴とする請求項1、2に記載するカラオケ装置。  
【請求項4】 通信回線を介して記憶される歌詞データを文字情報として記憶するカラオケ装置を有するカラオケ通信システムにおいて、  
指定されたカラオケ曲の歌詞の全部または一部を歌詞データに基づいて印刷する印刷手段を備えたことを特徴とするカラオケ通信システム。  
【請求項5】 請求項4に記載するカラオケ通信システムにおいて、  
複数の前記カラオケ装置の運用を管理する運用装置に前記印刷手段を備えたことを特徴とする請求項4に記載するカラオケ通信システム。  
【請求項6】 請求項4、5に記載するカラオケ通信システムにおいて、  
前記歌詞データには指定されたカラオケ曲に関する情報データが追加されていることを特徴とする請求項4、5に記載するカラオケ通信システム。  
【発明の詳細な説明】  
【発明の要約】  
【発明の名称】  
カラオケ装置およびカラオケ通信システム

【0005】 また、いわゆる通信型カラオケ装置では、新曲が発売日から1〜2週間後カラオケ曲として歌うことが可能となり（以下、新曲曲のカラオケ曲を「新曲」という）、新曲を発売後早く歌うためにその場で歌詞を覚えないといけない場合があるが、最近のカラオケ装置においては、上述した理由等により「全曲収録」は提供されていないので、「歌詞テロップ」以外にカラオケ曲の歌詞を覚えることができない問題があった。

【0006】 また、いわゆる通信型カラオケ装置では、新曲が発売日から1〜2週間後カラオケ曲として歌うことが可能となり（以下、新曲曲のカラオケ曲を「新曲」という）、新曲を発売後早く歌うためにその場で歌詞を覚えないといけない場合があるが、最近のカラオケ装置においては、上述した理由等により「全曲収録」は提供されていないので、「歌詞テロップ」以外にカラオケ曲の歌詞を覚えることができない問題があった。

理する運用装置に前記印刷手段を備えたことを特徴とする。さらに、上記構成を有するカラオケ通信システムにおいて、前記歌詞データには指定されたカラオケ曲に関する情報データが追加されていることを特徴とする。

【0012】このように構成を有する本発明のカラオケ装置またはカラオケ通信システムでは、カラオケ曲の歌詞を知りたい場合には、そのカラオケ曲を指定すると、そのカラオケ曲の演奏とは関係なく、文字情報として記憶されていた歌詞データの全部が印刷手段により印字されて、カラオケ曲の歌詞を知ることができる。尚、印刷手段は、印字する歌詞データを一語に線装することでもできる。また、複数のカラオケ装置を接続して、歌詞データを共有している場合には、複数のカラオケ装置の運用を管理している運用装置に印刷手段を備えて、指定されたカラオケ曲の歌詞データの全部または一部を印刷手段により印字することができる。

【0013】さらに、情報データが歌詞データに追加されている場合には、指定されたカラオケ曲の歌詞データとともに情報データが、印刷手段により印字される。従って、本発明のカラオケ通信システムにおいては、情報データを通信回線を介してカラオケ装置に配信することができる。また、印刷手段によって歌詞データまたは情報データに線装することでもできる。

【0014】**【発明の実施の形態】**以下、本発明の実施の形態を図面に基いて説明する。図1は本発明に関するカラオケ通信システムを示す図であり、いわゆる「通信カラオケ」と呼ばれるもので、カラオケ装置1内にある2台のカラオケコマンド30A、30Bが、屋内回線40を介して集中管理装置10に接続され、またその集中管理装置10は、と公衆電話回線3を介して、ホストコンピュータ2に接続されて、カラオケ通信システム1の屋内回線40に接続されている。また、カラオケ装置1の屋内回線40には、カラオケコマンド30Aと、カラオケコマンド30Bと、集中管理装置10と、運用装置の本体20とが接続されて、カラオケ装置1のローカルエリアネットワークを形成しており、それらにより本発明のカラオケ装置が構成される。

【0015】ホストコンピュータ2には、本カラオケ通信システムで演奏可能な全てのカラオケ曲の楽曲データと歌詞データとが、曲番号に対応して記憶されている。カラオケ曲の楽曲データとは、MIDI規格に基づいて構成されており、少なくとも音高、音の長さ、音の度さ、音色等のデータを含んでいる。また、カラオケ曲の歌詞データとは、「歌詞テロップ」が文字データとして、記憶されたものである。

【0016】図1に示すように、ホストコンピュータ2とカラオケコマンド30Aの間に、集中管理装置10が介在し、ホストコンピュータ2から配信された楽曲データと歌詞データは、集中管理装置10に曲番号と対応す

るように入力される。これにより、ホストコンピュータ2から配信されたカラオケ曲の楽曲データと歌詞データを、ローカルエリアネットワークを介して、カラオケ装置1全体で支障なく共有することができる。

【0017】次に、カラオケ装置1に設置された装置に説明する。カラオケ装置1には、カラオケ曲の演奏時に背景映像と「歌詞テロップ」を表示するCRTモニタ36Aと、マイク38Aとスピーカ39Aが取り付けられたアンプ37Aとが接続されており、以上よりカラオケ装置の主要部を構成している。また、カラオケ装置1に備えられたカラオケコマンド30Bについては、集中管理装置10と、本体20とキーボード26とCRTモニタ27とプリンタ28とからなる運用装置とが備えられている。運用装置28においては、ローカルエリアネットワークを利用して、カラオケ曲の演奏映像やカラオケコマンド30A、30Bの可動状況等を記憶することができ、利用者やオーナーへの情報提供に役立っている。

【0018】次に、カラオケ通信システムの構成について、図2のプロブロック図を示して説明する。集中管理装置10の内部には、集中管理装置10の動作を制御するCPU13が備えられ、屋内回線40専用のモデム12と、公衆電話回線3専用のモデム12と、ハードディスクと記憶装置14等が搭載されている。また、記憶装置14の内部には、楽曲データ記憶部14Aと、歌詞データ記憶部14Bと、背景映像データ記憶部14Cと、新曲情報記憶部14Dとが備えられている。楽曲データ記憶部14Aには、ホストコンピュータ2から配信されるカラオケ曲の楽曲データが、曲番号と対応して記憶されている。また、歌詞データ記憶部14Bには、ホストコンピュータ2から配信されるカラオケ曲の歌詞データが、曲番号と対応して記憶されている。また、背景映像データ記憶部14Cには、背景映像データが、曲番号と対応して記憶されている。また、新曲情報記憶部14Dには、カラオケ曲の新曲情報が、曲番号と対応して記憶されている。

【0019】また、運用装置の本体20の内部には、運用装置20の動作を制御するCPU22が備えられ、屋内回線40専用のモデム21と、カラオケ曲の演奏映像等の情報を記憶される記憶装置23と、CRTモニタ27につながれたモニタ制御部24と、プリンタ28につながれた印字制御部25等が搭載されている。

【0020】さらに、カラオケコマンド30Aの内部には、カラオケコマンド30Aの動作を制御するCPU32が備えられ、屋内回線40専用のモデム31と、カラオケ曲の演奏映像等の情報を記憶される記憶装置33と、CRTモニタ27につながれたモニタ制御部34と、プリンタ28につながれた印字制御部35等が搭載されている。

【0021】モニタ制御部34は、集中管理装置10

から送られる歌詞データと背景映像データとを、CRT等のモニタに視覚的に表示可能な映像信号に変換するとともに、両データを合成してCRTモニタ36Aに表示する（「スーパーインポーズ」方式）。CRTモニタ36Aに表示される歌詞データは、「歌詞テロップ」として利用者に該当する歌詞部分を知らせる役割を果たす。【0022】集中管理装置10は、例えばシンセサイザ等で構成され、楽曲の演奏情報を合成（生成）する音源とともに、マイク38Aを介して入力された40Hz程度の音声と適度の割合でミキシングされ、スピーカ39Aから出力される。尚、カラオケコマンド30Bの内部には、【0023】次に、本カラオケ通信システムにおいて、カラオケ曲の演奏に際し、カラオケコマンドへ、入力される入力された曲番号のカラオケ曲の楽曲データ、歌詞データ、背景映像データが送られる制御について、説明する。例えば、カラオケ曲の利用者が、「全曲目リスト」等から開べたカラオケ曲の曲番号を、カラオケコマンド30Aの入力キー33Aにより入力すると、カラオケコマンド30AのCPU32は、モデム31Aと屋内回線40を介して、集中管理装置10と運用装置の本体20とに入力された曲番号を送る。運用装置の本体20のCPU22は、送られてきた曲番号を記憶装置23に記憶し、カラオケ曲の演奏映像の情報をと

る。【0024】一方、集中管理装置10のCPU13は、送られてきた曲番号に該当する楽曲データと歌詞データとを、記憶装置14にある楽曲データ記憶部14Aと歌詞データ記憶部14Bとからそれぞれ読み取って、モデム11と屋内回線40を介して、カラオケコマンド30Aに送る。送られてきた曲番号に該当する楽曲データと歌詞データとが記憶装置14に記憶されていない場合は、集中管理装置10のCPU13は、モデム12と公衆電話回線3を介して、ホストコンピュータ2と接続して、カラオケコマンド30Aから送られてきた曲番号に該当する楽曲データと歌詞データの配信を受ける。配信された楽曲データと歌詞データは、カラオケコマンド30Aに送るとともに、記憶装置14にある楽曲データ記憶部14Aと歌詞データ記憶部14Bにそれぞれ記憶される。

【0025】同時に、集中管理装置10のCPU13は、送られてきた曲番号のカラオケ曲のイメージに合う背景映像を、背景映像データ記憶部14Cに記憶された背景映像データの中から選びだし、モデム12と屋内回線40を介して、カラオケコマンド30Aに送る。以上より、カラオケコマンド30Aに、入力キー33Aにより入力された曲番号のカラオケ曲の楽曲データ、歌詞データ、背景映像データが送られて、カラオケ曲の演奏を

出し出すには大変に不便であった。

【0007】ところが、近頃型カラオケ装置等においては、「歌詞テロップ」は文字情報として背景映像と併せて表示される画面に、演奏中のカラオケ曲の「歌詞テロップ」を重ね合わせて表示する（「スーパーインポーズ」）と呼ばれる方法が取り入れられているので、「歌詞テロップ」の文字情報のみをカラオケ装置から出力することは可能であり、上述した問題点に対して、「スーパーインポーズ」の技法を要り入れたカラオケ装置は、大変に有効となるが、指定したカラオケ曲の「歌詞印刷機能」という文字情報を印刷する機能（以下、「歌詞印刷機能」という）等は存在していなかった。また、通電型カラオケ装置では、カラオケ曲の歌詞や演奏に関するデータは公衆電話回線を通じて送られており、カラオケ曲の配信に際して歌詞カードが提供されることはない。【0008】また、近年におけるカラオケボックスやカラオケルームの普及により、カラオケパティエーが行われる機会が多くなったが、うまく歌う「コツ」や「ポイント」等の情報も歌詞印刷機能に追加して提供することができれば、かかる機能を有して、カラオケパティエーをより一層に盛り上げることができ、また、カラオケボックスと有したカラオケ施設がサービス向上に役立つことが可能となる。

【0009】そこで、本発明は、カラオケ曲の歌詞を文字情報として記憶するカラオケ装置及びカラオケ通信システムにおいて、指定されたカラオケ曲の歌詞や情報等を印刷することができ、カラオケ曲の歌詞や情報等を印刷することができ、カラオケ装置及びカラオケ通信システムを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、本発明のカラオケ装置は、楽曲データを文字情報として記憶するカラオケ装置であって、指定されたカラオケ曲の歌詞の全部または一部を歌詞データに基づいて印刷する印刷手段を備えたことを特徴とする。また、上記構成を有するカラオケ装置において、複数の前記カラオケ装置の運用を管理する運用装置に前記印刷手段を備えたことを特徴とする。さらに、上記構成を有するカラオケ装置において、前記歌詞データには指定されたカラオケ曲に関する情報データが追加されていることを特徴とする。

【0011】また、本発明のカラオケ通信システムは、通信回線を介して配信される歌詞データを文字情報として記憶するカラオケ装置を有するカラオケ通信システムであって、指定されたカラオケ曲の歌詞の全部または一部を歌詞データに基づいて印刷する印刷手段を備えたことを特徴とする。また、上記構成を有するカラオケ通信システムにおいて、複数の前記カラオケ装置の運用を管理する運用装置に前記印刷手段を備えたことを特徴とする。

行うことを可能にする。

【0026】また、本カラオケ通信システムでは、ホストコンピュータ2に配信可能な新曲が1〜2週間の短期間ごとに追加され、定期的に発行される「全曲目リスト」に新曲が掲載されていない場合が起るため、かかる新曲を利用者やオーナーに知らせるために、ホストコンピュータ2から集中管理装置10へ、新曲情報1〜2週間の短期間ごとに送られる。集中管理装置10のCPU13は、送られてきた新曲情報を記憶装置14の新曲情報記憶部14Dに記憶するとともに、新曲情報に基づいた「新曲リスト」を、カラオケホストBのCRTモニタ36A、36Bに、カラオケコマンド30A、30Bが動作していない時刻に表示させて、利用者やオーナーに新曲の内容をすぐに知らせることができ、また、放送する操作によって、運用装置のCRTモニタ27にも表示することができるので、上記とは別にオーナーが新曲の内容を知ることができる。

【0027】次に、本発明に関する歌詞印刷機能について説明する。図3は、歌詞印刷機能を作動したときの運用装置のCRTモニタ27の画面を示す図である。運用装置を起動すると、運用装置のCPU22がCRTモニタ27にD1の初期メニューを表示させる。D1の初期メニュー画面には、複数のメニュー項目が数字と対応して表示されており、その数字をキーボード26により入力すれば、該当するメニュー項目を選択することができ、

【0028】ここで、キーボード26により「2」を入力して、「歌詞印刷」を選択すると、運用装置のCPU22はCRTモニタ27の画面をD3に変更させて、「歌詞を印刷するカラオケ曲の曲番号」と「追加情報の印刷の有無」について、入力を受け付けさせる。【0029】このとき、キーボード26により曲番号「1234」を入力すると、運用装置のCPU22は曲番号「1234」を集中管理装置10またはホストコンピュータ2に通知して、曲番号「1234」の歌詞データの配信を受ける。そして、CRTモニタ27の画面をD4に変更させて、曲番号「1234」に該当する曲番号「1234」と「N」を入力すると、運用装置のCPU22は曲番号「1234」を集中管理装置10またはホストコンピュータ2に通知して、曲番号「1234」の歌詞データの配信を受ける。そして、CRTモニタ27の画面をD5に変更させて、題名「がんばりましょう」の歌詞61の全曲と情報データである追加情報52を、左右に2段で表示されるとともに、プリンタ28により印刷用紙60に印刷させる。

【0029】尚、追加情報52とは、うまく歌うっツや雰囲気を感じ上げるポイント等が、該当する歌詞部分の右側に「コツ」や「ポイント」等が表示されるように（D4参照）、歌詞データ内に文字情報で記憶されている。また、「歌詞テロップ」（歌詞51）の部分とは区別されて歌詞データ内に記憶されているので、「歌詞テロップ」としてCRTモニタ36A、36Bに表示されることはない。一方、キーボード26により曲番号「1234」と「N」を入力すると、同時に、運用

装置のCPU22は曲番号「1234」を集中管理装置10またはホストコンピュータ2に通知して、曲番号「1234」の歌詞データの配信を受ける。そして、CRTモニタ27の画面をD5に変更させて、題名「がんばりましょう」の歌詞51の全曲と情報データである追加情報52等からなる歌詞データを、集中管理装置10の記憶装置14内の歌詞データ記憶部14Bやホストコンピュータ2に文字情報として記憶しており、運用装置において「新曲リスト」や「歌詞印刷」のメニューを実行する際に、「歌詞を印刷するカラオケ曲の曲番号」と「追加情報の印刷の有無」について、運用装置のキーボード26で入力することにより、入力された曲番号の

【0030】また、歌詞の印刷は、メニュー項目の一つである「新曲リスト」において行うことも可能である。一般に、新曲は装置がよく知られていない場合が多いので、便宜性を考慮して「新曲リスト」を表示する際に、歌詞印刷機能を加えたものである。運用装置のCRTモニタ27にD1の初期メニューが表示されているときに、キーボード26により「1」を入力して、「新曲リスト」を選択すると、運用装置のCPU22は集中管理装置10に通知して、新曲情報の送信を受ける。そして、CRTモニタ27の画面をD4に変更させて、受信した新曲情報に基づいた「新曲リスト」を表示させる。「新曲リスト」には、最も最近に発行された「全曲目リスト」に記憶されていない新曲の題名が、曲番号とともに表示される。また、D2の画面の下方の枠50内には、歌詞を印刷するカラオケ曲の曲番号と追加情報の印刷の有無について、入力を受け付けさせる。

【0031】以後の動作は、「歌詞印刷」を選択した場合同様である。即ち、キーボード26により曲番号「1234」と「Y」を入力すると、運用装置のCPU22は曲番号「1234」を集中管理装置10またはホストコンピュータ2に通知して、曲番号「1234」の歌詞データの配信を受ける。そして、CRTモニタ27の画面をD4に変更させて、曲番号「1234」に該当する題名「がんばりましょう」の歌詞51（「歌詞テロップ」の全曲）と追加情報52を、左右に2段で表示されるとともに、プリンタ28により印刷用紙60に印刷させる。一方、キーボード26により曲番号「1234」と「N」を入力すると、運用装置のCPU22は曲番号「1234」を集中管理装置10またはホストコンピュータ2に通知して、曲番号「1234」の歌詞データの配信を受ける。そして、CRTモニタ27の画面をD5に変更させて、題名「がんばりましょう」の歌詞61のみを表示されるとともに、プリンタ28により印刷用紙60に印刷させる。

【0032】以上詳細に説明したように、本発明の形態のカラオケ通信システムでは、カラオケ曲の歌詞61や追加情報52等からなる歌詞データを、集中管理装置10の記憶装置14内の歌詞データ記憶部14Bやホストコンピュータ2に文字情報として記憶しており、運用装置において「新曲リスト」や「歌詞印刷」のメニューを実行する際に、「歌詞を印刷するカラオケ曲の曲番号」と「追加情報の印刷の有無」について、運用装置のキーボード26で入力することにより、入力された曲番号の

カラオケ曲の歌詞51や追加情報52をプリンタ28により印刷することができるので、指定されたカラオケ曲の歌詞や情報等を印刷することができるカラオケ装置及びカラオケ通信システムを提供することが可能である。【0033】尚、本発明は上記実施の形態に限定されるものでなく、その趣旨を逸脱しない範囲で様々な変更が可能である。例えば、本実施の形態のカラオケ通信システムは通信型のものであるが、文字情報として記憶された歌詞を背景映像に重ね合わせて表示する「スーパーポーズ」の技法が採用されていれば、通信線を待たない単独のカラオケ装置に列しても適用することができる。

【0034】また、本実施の形態では、カラオケ建設のオーナー・ルームCの運用装置において、カラオケ曲の歌詞を印刷することができたが、コマンド33A、33Bをカラオケ建設1のローカルエリアネットワークの端末として利用することにより、カラオケルームA、B内にいる利用者が、指定したカラオケ曲の歌詞印刷を、オーナー・ルームC内に設置された運用装置に通知したり、自動的にプリンタ28に実行させることも可能である。さらに、コマンド33A、33Bに印字制御部25を内蔵するとともにプリンタ28を接続すれば、カラオケルームA、B内において、カラオケ曲の歌詞を印刷することができ、

【0035】また、歌詞データ内の「歌詞テロップ」（歌詞51）の部分、1コーラス、2コーラスと区別して記憶するとともに、図3のD2、D3において、歌詞印刷を「1コーラス」、「2コーラス」、「全曲」と選択可能にすれば、カラオケ曲の歌詞の一部を印刷することも可能となる。

【0036】

【発明の効果】以上、説明したことから明らかなように

に、本発明のカラオケ通信システムでは、カラオケ曲の歌詞や追加情報等からなる歌詞データを、集中管理装置の記憶装置内の歌詞データ記憶部やホストコンピュータに文字情報として記憶しており、運用装置において「新曲リスト」や「歌詞印刷」のメニューを実行する際に、「歌詞を印刷するカラオケ曲の曲番号」と「追加情報の印刷の有無」について、運用装置のキーボードで入力することにより、入力された曲番号のカラオケ曲の歌詞や追加情報をプリンタにより印刷することができるので、指定されたカラオケ曲の歌詞や情報等を印刷することができるカラオケ装置及びカラオケ通信システムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】  
【図1】カラオケ通信システムを示す図である。  
【図2】カラオケ通信システムの構成を示すブロック図である。

【図3】歌詞印刷機能を作動したときの運用装置用CRTモニタの画面を示す図である。

【符号の説明】

- 2 ホストコンピュータ
- 3 公衆電話回線
- 10 集中管理装置
- 20 運用装置の本体
- 26 キーボード
- 27 運用装置用CRTモニタ
- 28 プリンタ
- 30A、B カラオケコマンド
- 36A、B CRTモニタ
- 37A、B フォン
- 38A、B マイク
- 39A、B スピーカ

